

# 教育委員会だより

「教育の町」ふじみを目指して

第  
97  
号

明けまして おめでとうございます

富士見町教育委員会  
教育長 小林洋文



昨年は富士見中学校で生徒の自死や、境小学校長が亡くなる等悲しいできごとが続きました。私自身も体調を崩し厳しい一年でした。しかしながら、スポーツ等では全国大会でも入賞するなど、子どもたちの活躍や、「全国学校給食甲子園」決勝大会への出場など、明るい話題に励まされる年でもありました。

本年は、「教育の町づくり」事業も3年目を迎えることとなり、小学校での英語教育も成果が見えはじめることと期待しています。また、基礎学力向上には「家庭学習の手引き」の活用や、学習環境を整えることが欠かせません。そのためには明るく、笑いのあふれる家庭が基本となります。おじいちゃん、おばあちゃんも積極的に子育てにかかるような家族関係が大事ですし、親子で何でも話せるような信頼関係も大事です。そのような家庭を核とし、地域で子どもを育てる環境を目指していきます。

教育未来会議「エデュ・Cafe」で伺った、保護者や地域の皆様の意見も取り入れながら、多くの方々の協力を得て「教育の町づくり」事業を進めてまいります。

昨年末の「富士見中学校生徒の死亡に関する調査委員会」による提言の内容を真摯に受け止め、学校現場で活かせるよう、子ども一人一人の生活を見つめる教育をすすめ、知力・体力・気力のバランスがとれた子どもたちの成長を支援する一年としたいと考えます。本年も変わらぬご支援をお願いします。

## “給食甲子園”決勝大会にふれて

先月号で既報の通り、第8回全国学校給食甲子園決勝大会は、12月8日(日)東京の女子栄養大学にて行われ、富士見中学校からは、栄養士の畠山梨恵先生と給食調理員の坂本純子さんが出場しました。

この決勝大会は、応募総数2,266校の中から選ばれた代表12校がしのぎを削ります。この割合は、ちょうど高校野球の甲子園の選抜大会に出場する高校の割合と同じ程度だそうです。激戦を勝ち抜いてきただけあって、どの代表のメニューを見てもそれぞれが地域の特色にあふれ、工夫されており、この大会のレベルの高さを感じました。

審査項目は、おいしさはもちろん、栄養のバランス、調理器具の使用の仕方、さらには学校給食なので、衛生管理など多岐にわたっています。時間は60分!!その限られた時間の中で、おいしく、衛生的に、見た目よく調理します。調理器具の片付けまで含めて60分ですので、手際の良さ、効率の良さも求められています。本校のメニューは一つ一つに手が込んでいるため、練習ではなかなか60分の壁が破れなかったのですが、南誠栄養士会の皆さんに味付けや手順などのアドバイスをいただきながら、当日を迎えました。

そして当日、スタートの合図とともに取りかかった二人は、コンビネーションよく調理を進めます。終了時刻の数秒前に無事終了。(時間オーバーは減点対象)

審査結果は、惜しくも最優秀に届かなかつたものの「東京ガス賞」という賞をいただきました。この賞は「最も味のバランスに優っていた学校」に贈られるものですから、味的には日本一!!ということになります。

栄養士の畠山先生は、取材を受ける中でこう言っています。「今回出場する中で、本当に多くの皆さんに支えられている自分を自覚しました。学校の調理員さんや先生方、よちやぱりの皆さん、南誠栄養士会の皆さん。保護者や地域の方から多くの応援の声をいただきました。これからも富士見町のおいしい食材をたくさん使い、おいしくて、安全で、栄養のバランスのよい給食を作っていくたいと思います。」

皆様の応援、ありがとうございました。

富士見中教頭 中村 弘文



平成26年1月1日発行  
富士見町教育委員会編集  
☎62-9235  
kodomo@town.fujimi.lg.jp

**1月  
定例教育委員会**  
**1月22日(水)**  
午前9時30分より  
役場2階  
教育長応接室  
傍聴歓迎!

**子どもに関する  
なんでも相談**  
**月曜日～金曜日**  
午前8時30分  
～午後5時15分  
☎62-9233  
家庭・教育相談員  
(鈴木)

**今月の無料塾**  
(水曜日講座)  
富士見中  
1・2年生対象  
◆1月15日(水)  
◆1月22日(水)  
◆1月29日(水)  
●いずれも時間は  
午後3時50分  
～午後6時30分  
問 ☎62-9235



## 教育未来会議 「エデュ・Café」の報告

昨年度より開催している教育未来会議では、テーマを設けることなく、ざっくばらんにそれぞれの地区の皆さんからのご意見をお伺いするということで行いました。下記に紹介する意見はごく一部です。詳細は教育委員会ホームページに掲載しておりますので、保護者の皆さんや地域の方が感じる「教育」に対する思をぜひお読みください。来年度も継続して開催していきますので、まだ参加されたことのない皆さん、次回はぜひご都合をつけて、ご参加をお願いします。(全11回合計の参加者数63名)

### ○調査委員会関係

- ・折に触れて子どもが気軽に相談できる体制を。

### ○学校の登下校・スクールバス

- ・バスが無理ならそれに代わる何か新しい案なり考え方を示してもらえば希望が持てる。
- ・スクールバスに回ってもらえればありがたい。無理ならせめて街灯を増やしてほしい。

### ○部活動や社会体育

- ・朝練や社会体育がなくなるという話があるが本当か。

### ○不登校・いじめ・発達障害などへの対応

- ・子どものケアはあると思うが、親御さんに対してはどうか。

### ○無料塾

- ・親の希望としては、宿題をやってもらえるとありがたい。

### ○英語教育

- ・昨今、英語が大事ときくが、町の小学校での取り組みはどうか。
- ・海外へ出ることも大事だが、地元の長野や富士見のことをよくしていくことも大事。郷土を思う気持ちを育てることが大事では。

### ○勉強、家庭学習、生活習慣、学校のこと

- ・とにかく先生方が忙しすぎはしないか。
- ・宿題の量は、できる子できない子がいる中、その子に応じ加減することはできないか。
- ・「家庭学習の手引き」は参考にしている。何をさせたらいいかなと参考書のように使う。
- ・国や町の学力テストの成績表を見やすく、より個人の直すべきところが分かるようにして欲しい。
- ・教育=学力と考えがちだが、教育=文化を持っていかなくてはいけない。一番は家庭教育なのでは。
- ・学力だけでなく、心の豊かさが伴って、初めて教育といえるのでは。
- ・清陵附属中の開校については、諒訪市周辺と郡部との温度差が出てきてしまわないか。
- ・親子の会話、コミュニケーションの取り方が大切。

### ○携帯・スマホ・ゲーム機・インターネットの使い方、持たせ方について

- ・携帯、スマホの与え方、使い方、危険性といった学習のできる機会を増やして。

### ○エデュカフェの開催方法について

- ・開催が学年別、テーマ別などになっていれば参加しやすい。また、小さい子がいると、預けることを考えなくてはいけない。より参加しやすいようにしていただきたい。

1月19日(第3日曜日)は  
家庭の日・家庭読書の日

新しい年の初め、家族みんなが集まり笑顔であいさつを交わしたり、1年の目標を話したり、楽しく過ごしましょう。

## 新教育委員を紹介します



富士見町の教育のため、特に支援の必要な子ども達のため、努力したいと思います。

鈴木 清 教育委員(乙事)

任期: 平成25年12月23日～  
平成29年12月22日まで4年間

長年、中学校教諭を勤められ、旧富士見高原中学校では最後の校長として、統合に伴う準備にご尽力されました。また、これまで町の家庭・教育相談員として多方面にご活躍されています。



▲乙事会場の様子

